

愛する故郷 小笠原

令和3年2月26日
No. 11
文責 校長 飯久保一男

小笠原小学校2月の様子です

臨時休業から始まった令和2年度が、いよいよ3月を迎え、締めくくりとなります。臨時休業分の学習の遅れは、すでに取り戻し、新しい年度へと踏み出そうとしています。2月はもともと1年のうち一番短い月ですが、祝日があり、月末が土日となるので、さらに短く感じます。コロナウイルス感染症の収束にはまだ時間がかかりそうですが、小笠原小学校は、感染症対策をする中で「制限のある中での最大限」をめざしています。

2月は、学年ごとに日を分けて、授業参観を行いました。1学期から希望される保護者には、授業を開放し、参観していただいていたのですが、参観日を設定しての授業参観は2月が第1回目となってしまいました。これらの様子を含め、小笠原小学校の2月の様子を紹介させていただきます。

授業参観・学年部会（1年生）



授業参観・学年部会（2年生）



授業参観・学年部会（3年生）



授業参観・学年部会（4年生）



授業参観・学年部会（5年生）



授業参観・学年部会（6年生）



校外学習（5年生） 甲斐源氏ゆかりの市内の史跡巡り



小中一貫あいさつ運動（楡形中の先輩たちがきてくれました）



タグラグビーの学習（4年生）



児童総会（テレビ放送で）



短い2月でしたが、これらのほかにもたくさんの活動や学習がありました。

※毎日の様子は、本校ホームページ【学校のひろば】→ ★日々のようす★ よりご覧ください。…毎日更新しています！

学校はこのあと、学習や学年のまとめ、卒業式・6年生を送る会などの卒業に関わる行事、修了式・離任式など新年度への取り組みなど、別れと出会い、そして、希望のふくらむ時期を迎えます。